

部課室名	県土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	街路担当参事 古川 雅一 (主幹(街路担当)金澤 真文)	内線	4474 (4480)
事業種目	街路事業	新規評価年度	—	現計画	前回評価時点
事業名	都市計画道路事業 園田西武庫線 (御園工区)	事業採択年度	平成9(1997)年度	総事業費	210億円
		着工年度	平成9(1997)年度	内用地補償費	108億円
		再評価年度	平成18(2006)年度 平成23(2011)年度 平成28(2016)年度	完成予定年度	令和5 (2023)年度
事業区間	尼崎市御園1丁目～塚口本町6丁目	進捗率 (用補進捗率)	94% (100%)	30% (40%)	
		残事業費	12億円	138億円	
事業の目的				事業内容 (H28) 前回評価時点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>本路線は国道2号、国道43号等の東西主要幹線道路を補完し、大阪府と接続する尼崎市北部における東西幹線道路である。</li> <li>尼崎北部では、大阪府と連絡する東西道路ネットワークが脆弱なため、周辺道路では慢性的な交通渋滞が発生している。</li> <li>このため、本路線で整備が残っている本工区と藻川工区を合わせて供用し全線開通することにより、都市内交通の円滑化と都市防災機能の向上を図る。</li> </ul>				道路改築 L=90.9m JR福知山線とは、立体交差 【現況幅員】なし 【計画幅員】車道6.0m〔全幅18.0m〕 2車線+両側自歩道 【計画交通】9,300台/日(9,100台/日) 【負担割合】国:1/2,県:1/4,市:1/4	
事業を取り巻く 社会経済情勢 等の変化	【前回評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】 ① 工事費について仮設工法の変更、埋蔵文化財本発掘調査等の追加により、全体事業費を約12億円増額する。				
進捗状況	① 用地買収完了。 ② 令和元年度よりJR交差77°コーナ部の工事に着手。 ③ 藻川工区は平成26年度より工事着手している。(進捗率94%)				
評価視点	評価結果の説明				
審査会意見及び対応方針 (H28年度再評価)	【審査会意見】 当工区と藻川工区の整備により本路線全線が供用となり、大阪府と連絡する東西ネットワークが形成され、都市内交通の円滑化や都市機能の充実といった相乗効果を発揮するため、両工区の早期供用に努められたい。		【対応方針】 本路線の効果を発揮するため、藻川工区も含め本工事の推進を図る。		
(1)必要性	①本路線の北側に並行する猪名寺椎堂線のJR前畑踏切(「踏切すっきり安心プラン」問題踏切)など、周辺道路では、慢性的な交通渋滞が見られる。本路線の整備、JRとの立体交差化により、交通渋滞を緩和し交通の円滑化及び交通の安全を図る必要がある。 ②また、阪神高速道路や大阪内環状線とのネットワークの強化による緊急物資等の円滑な輸送、避難場所(園田小・中)へのアクセス性を高めるなど災害時の都市防災機能の向上を図る必要がある。 ③JR福知山線及びその沿道に集中する工場群により、東西に分断された市街地の地域間交流、活性化を図り、また周辺駅(JR猪名寺駅、塚口駅、阪急塚口駅)や大規模集客施設、周辺公共施設等へのアクセス性を向上させることができる。 ④市の自転車ネットワーク計画におけるネットワーク補完路線であり、自転車歩行者道の整備により、自転車走行空間を確保することができる。				
(2)有効性 ・効率性 (執行環境状況)	①費用便益比B/C=2.2(全体)(前回B/C=2.5)、B/C=41.8(残事業) ②事業完了後の現道(県道西宮豊中線)の管理引継については、尼崎市の合意を得ている。 ③地元より早期整備の要望がある。				
(3)環境適合性	①車道は低騒音舗装、歩道は透水性舗装を行い、沿道環境に配慮することとしている。 ②市街地内の通過交通をバイパスへ転換することで、走行速度の改善、交通分散できることから、大気に与える影響を軽減できる。				
(4)優先性	①本路線で整備が残っている本工区と藻川工区を供用することにより、大阪府と連絡する東西ネットワークが形成されることから、早期に供用を図る必要がある。				
再評価の結果	継続	左の理由	事業の必要性は、事業採択時と変わっておらず、用地買収が完了し、本工事に着手しており、継続して事業を実施する必要がある。		

事業進捗状況概要図（継続：再評価〔第4回〕）

事業名	街路事業	路線・河川名	(都) 園田西武庫線 (御園)
事業進捗状況・予定		整備効果	
全体 H9(1996) ~ R5(2023)	<b>【事業費＝210億円】</b> 延長：909m 物件補償：9件、用地：9件 18,199m <sup>2</sup>		
前回再評価 まで (実績) H9～H28	<b>【事業費＝64億円】</b> ・用地補償全件契約完了（100%契約済） ・JRと施工協定を締結し、交差部工事着手		
過去5年間 H28(2016) ~ R3(2021)	<b>【事業費＝134億円】</b> ・JR交差部工事完了 ・JR交差アプローチ部工事着手 ・土地開発公社からの買戻し全件完了		
今後2年間 (予定) R4(2022) ~ R5(2023)	<b>【事業費＝12億円】</b> ・JR交差部アプローチ部完成予定 ・令和5年度に全区間完成予定	「踏切すっきり安心プラン」に位置づけられた、ボトルネック踏切前畑踏切など周辺道路の渋滞が緩和される。また、大阪府と連絡する東西道路ネットワークの強化による都市防災機能が向上される。	

# 街路事業 都市計画道路 園田西武庫線〔御園工区〕

## 位置図



## 目的

- ① 尼崎市北部市街地における都市内交通の円滑化
- ② 大阪府と連絡する東西道路ネットワークの強化による都市防災機能の向上

## 事業概要

事業区間： 尼崎市御園1丁目～塚口本町6丁目  
 総事業費： 210億円  
 内用地補償費： 108億円  
 事業期間： H9～R5  
 事業概要： バイパス整備  
 延長： 909m

凡例

- : 事業中の都市計画道路
- : 他事業区間
- : 未整備の都市計画道路
- : 整備済の都市計画道路
- : 自動車専用道路

## 横断図



# 事業の必要性・優先性

- ①尼崎市北部市街地では、自動車ボトルネック踏切である前畑踏切(踏切すっきり安心プランに位置づけ)や渋滞交差点(南町4丁目交差点)が存在するなど慢性的な渋滞が発生しており、本工区及び藻川工区の整備により、都市内交通の円滑化が必要。
- ②大阪内環状線との道路ネットワーク強化による災害時における緊急物資の円滑な輸送など、都市防災機能の向上が必要。

# 整備前の写真

①JR前畑踏切の渋滞状況



②南町4丁目交差点の渋滞状況



③ピッコロシアター南交差点の渋滞状況



# 平面図

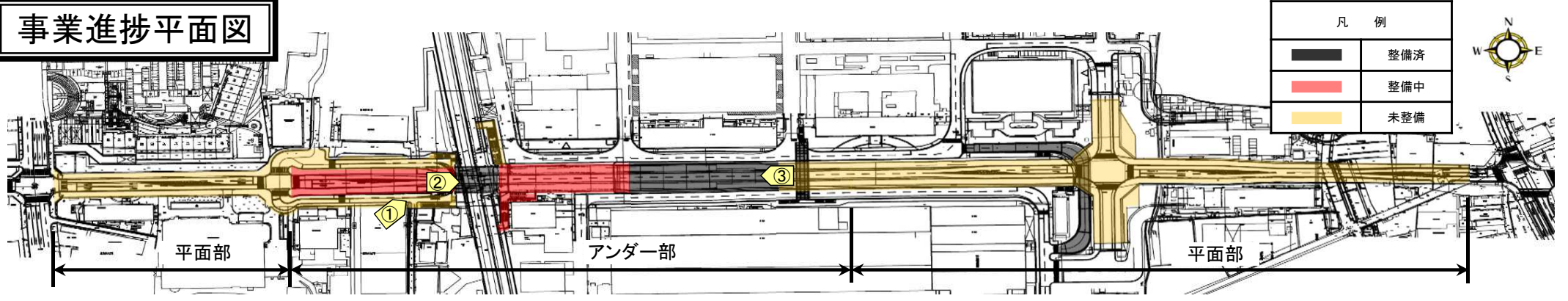


# 大阪府側との道路ネットワーク状況



# 進捗状況

## 事業進捗平面図



## 現況写真

①工事の進捗状況(JRアンダーパス部)



②工事の進捗状況(JRアンダーパス部)



③工事の進捗状況(JRアンダー東側アプローチ部)



## 工程表

■ : H28再評価時  
■ : 実施・計画

	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5		
設計	■										■							■												
測量・調査	■																													
用地補償	■																													
道路改築工事																						■							■	
JRアンダーパス工事																						■	■							

# 事業の有効性・効率性

## (1) 費用対効果

### ① 便益(B)の項目

評価の視点	効果項目(費用対効果の便益内容)
① 走行時間短縮便益	目的地までにかかる時間が短くなることによる便益
② 走行経費減少便益	交通の流れがスムーズになり、燃費などが向上することによる便益
③ 交通事故減少便益	交通事故が減少することによる便益

### ② 費用便益比(B/C)算出根拠

事業	事業名	B(便益)		代表的な効果	C(費用)			B/C	
		便益額 (百万円)			総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)		
街路	園田西武庫線	全体事業費	① 走行時間短縮便益	60,909	時間短縮 9.9分→3.5分	30,836	30,600	236	2.2
			② 走行経費減少便益	5,707					
			③ 交通事故減少便益	981					
			計	67,597					
		残事業費	① 走行時間短縮便益	60,909	時間短縮 9.9分→3.5分	1,619	1,383	236	41.8
			② 走行経費減少便益	5,707					
			③ 交通事故減少便益	981					
			計	67,597					

※本表の費用便益比は、御園工区及び藻川工区の開通により一体的な効果を発揮することから、両工区を対象として算出した。

## (2)費用対効果に含まれない効果

評価の視点		効果項目	該当する事業内容等	
①安全・安心の確保	災害時	緊急医療・緊急物資の円滑な輸送の確保 (緊急輸送道路の整備、防災拠点・災害拠点病院へのアクセス道路の整備)	○	緊急輸送道路と地域の避難所(小学校)を結ぶアクセス性が向上
		救助・救援活動の支援 (災害時の通行不能や孤立集落の解消)	○	
		減災対策への取組み (二線堤道路、避難路・避難場所としての機能、延焼防止機能の確保)	○	火災時の延焼遮断帯としての機能を確保
	平時	救急医療体制の支援	—	—
		交通安全対策	○	歩道の整備による安全な歩行者・自転車空間を確保
②地域の活性化	地域間交流の促進	○	鉄道及び工場群による東西地域分断の解消	
	中心市街地の活性化	○	周辺商業施設へのアクセス性向上	
	地域産業の活性化	○	広域的な都市間道路ネットワーク形成による物流の強化	
	観光支援	—	—	
	地域プロジェクト等支援	—	—	
③円滑な交通体系の確保	公共交通機関利用の促進 交通結節機能の向上	○	周辺駅へのアクセス向上	
④地域の環境改善	沿道環境の改善 景観形成	○	歩道部の透水性舗装による雨水の地下への還元 車道部の低騒音舗装による車両騒音の低減	

### 地域からの要望状況等

要望状況等	地元より早期整備の要望がある。
-------	-----------------